

印西市廃棄物減量等推進審議会会議録

- 1 開催日時 令和4年12月19日(月) 14時00分から16時17分まで
- 2 開催場所 印西市役所 204会議室
- 3 出席委員 小熊清委員、山崎久恵委員、友野吉弘委員、遠藤康子委員、吉村仁委員、坂口育子委員、吉岡明委員、森内栄一委員
- 4 出席職員 クリーン推進課長 藤巻孝、推進係長 鈴木昇、主査 泉田隆之
- 5 傍聴者 無し
- 6 次第
 1. 開会
 2. あいさつ
 3. 議事
 - (1)第3次印西市ごみ減量計画における施策について
 - (2)その他
 4. その他
 - (1)災害廃棄物処理計画(案)について
 - (2)第3次印西市ごみ減量計画の目標値について
 5. 閉会
- 7 配付資料
 - ・次第
 - ・令和3年度、4年度月別原単位比較(グラフ)(資料1)
 - ・第3次印西市ごみ減量計画の施策の進捗について(資料2)
 - ・印西市災害廃棄物処理計画(案)(資料3)
 - ・第3次印西市ごみ減量計画の目標値について(資料4)
- 8 会議概要
 - (1)資料1及び資料2に基づき説明を行い、意見等をいただいた。
 - (2)議事なし
- 9 審議経過
 - (1)第3次印西市ごみ減量計画における施策について

議 長 それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきますので、議事進行の方にご協力をお願いいたします。まず、議題の1ですね、「第3次印西市ごみ減量計画における施策について」を、事務局の方から説明をお願いします。

事 務 局 ～資料1について説明～

議 長 ちょっといいですか。区切っていきたいと思いますので。皆さん、資料1について、質問ありますか。大体、傾向が見えるようですけども、一番上のところが総ごみ、2番目のところが家庭系で、3番目のところが事業系、というような形になっていますので。

委 員 原単位。これは？

事 務 局 原単位というのは、1人1日当たりのごみ排出量です。

委 員 1人1日当たりでよろしいですか。

事 務 局 総合のごみの量を日数と人数で割ったものになります。

議 長 この一番上のグラフのところの、令和4年の方の7月のところが6、7って落ちていっているの

ですけども、これはどんな感じですかね。

事務局

ちょっと新型コロナウイルス感染症による影響が出ているのかとは思うのですけれども。

事務局

ちょっとつけ加えてよろしいですか。前年度と今年度を比較していただきますと、今年度の4月と6月、7月が前年度に比べて低いという状況になっているかと思えますけれども、ちょっと社会情勢の方を見てみますと、緊急事態宣言が、令和3年1月7日から3月21日、それから8月2日から9月30日まで緊急事態宣言が出ております。その他に、まん延防止措置の方ですけども、印西市はちょっと非該当だったのでですけども、県内ですらね、4月22日から8月22日までまん延防止が出ておりますので、その辺の巣ごもりといいますか、学校の方の、また会社の方、リモートとかということが考えられるのかなと分析しております。以上です。

議長

皆さん、いかがですか。社会活動、これが停滞するっていうことで、ごみの排出量って落ちるのですかね。

事務局

前年度がですね、落ちるといふか、家にいる時間が長かったので、ごみの排出量が増えている。

議長

一時、コロナが流行しまして出かけられなくなった時に、逆にごみが増えたのですよね。それは家庭内の片付けだとかそういうものから出ている分もある。あと、容器で買い物していて、容器がごみの量を増やしたというのですけれどね。皆さんいかがですか。

委員

事業系のごみで、今年度の方が少し多くなっているような傾向があるのですけれども、人口で割っているの、その辺があるとは思うのですけれども、原単位ということ考えると、やっぱり若干こう、多いのかなという気がするのですけれども。どのように考えているでしょうか。

事務局

事業系のごみにつきましては、こちらの原単位というところで、先ほどもおっしゃっていただいたところですが、事業系の方もごみの量に対して、人口で割っている形になります。ですので、事業者の数に関わらず人口で割っているところがありますので、人口の増え方に対して事業者が増えている数が多いと、原単位の方が上がってしまうところがございます。それに加えまして、4年度に関しては行動が元に戻りつつあって、人出が増えていることもありますので、事業活動が活発になっているということもあるのかな、というところがございます。事業系ごみが増えているのではないかと分析しているところでございます。

委員

事業系ごみでは、事業者によってごみの量が全然違うと思うのですよ。だから一概に事業者が増えたからごみが増えるっていうようなことでもないと思うのですけれども、実際にはどういような事業者が増えているのですか。

事務局

実際に、そうですね、事業者のどこの分野が何社増えたかという分析まではちょっとできていないところが現状なのですけれども。

委員

私のイメージだと、デリバリー関係の倉庫が結構、頻りに建っているの、そういうところが急激に増えてきたから、そういうところってあまりごみが出ないような感覚でいたのですね。そのところがちょっと、わからないのです。

事務局

会社の方が、デリバリーとか、倉庫関係が増えてございますけれども、やっぱり、行動制限が無くなったことにより、市民の皆さんが外に出て食事をする機会が増えたりとか、そういう部分での増もあるのかなというように考えております。以上です。

議長

単純に、簡単に相関は出ないと思うのですけれども、例えば、できれば、次回は事業系の、事業所数の増加の数字ぐらいはとらえられるのですかね、月単位で。それは原単位なのですよ。特に、さっき言われたように、業種によっても当然こういうような動きの出方がするかと

というのはありますけどね、難しい話でしょうけれども、全国的にどこも同じらしいのですけれども、単純に、事業系の、人口でただ割り算するというのは、所詮は無理な話だろうと思いますよね。家庭系の方までは人が出すものですからわかるのですけど、事業活動を、ただ人口でね、持っている訳にもね。まあ難しい話だと思うのですけれども。でも現実には増えているということで。

委員 私の感覚なのですけども、これをいただいてから、ちょっとホームページを見たのですよね。そうしたところ、印西市の家庭から1人1日当たりの燃やすごみの排出量ということで、棒グラフを使って、それだけなのですけれども、書いてあるのですよね。それの方がこれより見やすいし、いろいろ説明するにはそちらの方が役に立つのかなというふうに思ったのですけれども、どうですか。

事務局 前年度と当年度を比較するのに、ちょっと見せ方もいろいろあったと思ったのですけれども、今回いろんな、家庭系、事業系とか、いろいろ複雑に出していたので、いろんな数値を出したかったので、折れ線グラフを採用させていただきました。

委員 ちょっと欲張っちゃったかな、という感じはしました。

委員 いただいたグラフ、令和3年度、4年度ですかね、例えばこれ、令和元年、2年、3年と年間ベースで比較すると、全体的には減っているのですか？

事務局 年間ベースで見ますと、事業概要であったと思うのですけれども、令和元年度ぐらいまで減っていった、そこから2年度3年度、増えていったような傾向にあります。新型コロナウイルスの影響が大きいのかなと、分析しているところでございます。

委員 難しいな。

委員 基本的なことですみません。原単位の単位っていうのは、kg？

事務局 これはすみません。「g/人・日」で、1日1人当たりのグラム単位です。

委員 単位がどこにも書いてなかったかなと思ひまして。

委員 ちょっとここに、どこかに単位を書いておいてもらえれば。

議長 対応します。

委員 kgなのかな、トンなのかな。でも1人だからトンは無いかとか思ってしまった、すみません。

議長 他はいかがですか。それでは、グラフにつきましては以上ということで、次の資料2の方の説明をお願いします。

事務局 ～資料2、1-1、食品ロスの削減について説明～

議長 資料1の食品ロス削減のところを今、説明いただきましたので、こちらについて、皆さん、ご意見とかありましたらお願いします。はいどうぞ。

委員 食品ロス削減協力店の登録っていうのですけども、具体的に協力というのは、どういう協力をすると食品ロスに協力することになるのですか？

事務局 食品ロス削減協力店につきましてはですね、事前に決められた、小分けにしたものを売っているとかがですね、持ち帰りメニューを作っているとか、まだいくつか項目があるんですけども、そちらの項目を満たしている小売店または飲食店に対して、食品ロス削減協力店ということで、登録をしていただいて、それをホームページに公開することによって、周知を行っております。

委員 例えば飲食店で、たくさん頼みすぎちゃって残りました。それを持ち帰るための、ドギーバッグみたいなものを用意してくださるっていうことも、協力の一つということで理解してよろしいでしょうか。

事務局 そのとおりです。

議長 確かにいろんな形で、項目が一つでも引っかければ、もう、その対象になるということなのでしょう？

事務局 そのとおりです。

議長 皆さん、のぼり旗見られたことありますか？

委員 役所の入口にあるやつ。

委員 あれちょっと、なんていうのかな。いろんなものと似たような柄なので、よくわからなくて、よく見ればわかるのですけれども。なかなか目立たせて作るのが難しいと思うのだけれども、何か、もっと特徴があってもいいなって感じがしたのだけれども。Go To Eatののぼり旗と似ている。僕は最初、Go To Eatの何かなのかなと思ったのですよ。そしたら、協力店のそれだったので、ああそうか、と思って。それくらいですね。

議長 今、のぼり旗はありますか？

事務局 「募集中」のものは、施設にあります。

議長 もしよろしければ、持ってきてください。

事務局 ちょっと、基準についてお話させていただきます。一つがですね、小盛のメニューやハーフサイズの導入、それから次が、持ち帰り希望者への対応。3つ目が、食べ残しを減らすための呼びかけ、ポスター掲示等の啓発活動の実施、4つ目が、量り売り、ばら売り、小容量の販売等の導入。5つ目が、賞味期限や消費期限が間近な食品の割引販売、6つ目が、食材の使い切りレシピ等の紹介、7つ目が、フードバンク活動への協力、8つ目が、賞味期限や消費期限の表示、手前どりに関する啓発、9つ目が、その他の食品ロスの削減へつながる取組として、市の方では9個メニューを用意してございます。

議長 ありがとうございます。新聞などでも出ていますし、テレビでもやっているのですけれども、ローソンなどが、早く値下げをしたり、いろんな形で、それを横にまわして、という取り組みをされていますよね。できるだけいろんな形で、全部を網羅してなくても、一つ、二つでもやれるところをやってもらえばいいと。今、旗を持ってきていただきました。

事務局 こちらになります。

議長 もう少しインパクトがあってもいいですよ。

委員 Go To Eatの、レストランとか、そういうところを募集しているのかと思ったのですよ、最初。食品何とかと書いてあったから、お店というか、食堂とかレストランとか、そういうところの募集だと思ったのですが、本当よく見たら「協力店」って書いてあったから。色合いが似ているでしょう。

議長 今、おっしゃられたように、「募集」の方が強く出てしまっていて、「このお店は食品ロス削減の協力店です」、というのが、もっと…、

委員 いや、「募集」ですからあれはあれで。

議長 「募集」でいいですか。

委員 ただ、色合いが似ていたから、ちょっと間違えた。

議長 この店は食品ロスの削減をやっていますよというようなことが訴えられると。

委員 それはステッカーか何か貼っているのですよね。

事務局 ステッカーの色と同じ色を使っています、それで似通っているところがあります。他のところで同じような要素、ちょっと検討課題ですね。

事務局 啓発の仕方としては、当然、やっているお店が、こういった市の事業にも参加していただく

いう、その協力店を募集するものと、あと協力店だという、その参加してくれた方を周知するものと。お話を聞いた中で、行政としては、実際に今の項目を取り組んでいても手を挙げてくれないところもありますので、この制度だけではなくて、食品ロスということに取り組んでくださいということも併せて啓発する必要があると思っていますので、色合いとかも含めて、こういった啓発媒体を作るときには考えたいと思います。いずれにしても、新たに食品ロス、その前に生ごみの水切りとかありましたけれども、啓発をよりたくさん目につくような形ということでやっていますので、引き続き続けてもらいたいと思っています。

委員 ぱっと拝見して、どちらも協力したいと思ったときに、担当はクリーン推進課なのですか？
事務局 担当はクリーン推進課です。

委員 ちょっとあれだと、どこに行ったらいいのかわからないですね。希望の方は印西市役所まで、とか書いてないので。市に置いてあればいいのですけれど、別のところに置いた場合はわからないですね。

委員 実は、こんなことを言ったらいけないかもしれないですけど、私、今日初めて、市役所の入口でこの旗を見たのですけれども、今、市内にどれぐらい展示されているのですか。

事務局 今年度は15本作成して、市内の施設や駅等で今、展示、啓発しております。

委員 15本。そうですか。そしたら、別に私が見てなくても不思議じゃないですね。

事務局 今後、増やしていく予定ではあります。

委員 そうですか。

議長 そうですね、ちょっと15本では。来年度のものはもう予算づけはされているのですか。

事務局 予算要求しているところです。

議長 多少、流動的なところで使える予算があれば、いろんな方の意見聞いて、インパクトの強いもので、市民の皆さんにわかりやすいところで。

委員 ポスターでもいいですよ。のぼり旗は高そうだったので。啓発ポスターはありますか。

事務局 今のところ無いのですけれども、ご意見としていただければと。

委員 なんか、ポスターの方が、お安く上がるかなと思って、どこでも貼れるので。

事務局 先ほど言いました事業者向けの広報と、そういったことをやっているよ、という市民向けの広報。食品ロスも市はやっているのだなど。ただ、いろんな切り口であったり、とらえ方がありますので、最終的にはいろんな方に知っていただかないと、事業者であったり市民であったり、両輪のごとく取り組んでいただけないので、当たり前の事業になるように、啓発の方、力を入れていきますので。ご意見、参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

委員 商工会を通じて事業者宛に食品ロスの協力店についての資料を配布しているということなのですが、商工会に加入していない飲食店とか食料品店とか、そういう状況というのはどうなのですか。必ずしも商工会に加入していないお店に対して、どのようになっているのでしょうか。それとも、だいたい商工会に加入していらっしゃるわけですか。

事務局 当然、商工会に加入していない事業者もありますので、直接、今はそちらに通知とかはしておりませんが、同じような事業で県の事業に登録している店舗とかもありますので、知り得た情報を活用して、そういったところに周知していきたいと思っています。今は、メインとしてはやはり商工会を通じて周知させていただいているのが実態です。

委員 そうしますと、のぼり旗を見たときに、「そういえばこういう資料が商工会から来ていたな」というところで、そこにクリーン推進課ってことが書いてあるわけですね。

事務局 商工会を通じて会員さんに周知している部分と、あと加入していない方へ、今、ご意見をいた

- だいて、他の媒体とかで知り得た時には、積極的に周知したいと考えております。
- 委員 食品ロスの啓発用の映像を作ってネットで流していますよね。ここに来る前にちょっと見てきたのですけれども、よくできているのですよね。だから、それを何とか見てもらえないかなと思っ
ているのですけども、あれを見ることによって、すごく内容がよくわかるし、こういうことに
協力していこうっていう気持ちになってくると思うので、それを何とか見てもらえるような、そ
うい
う算段というものは無いのですかね。それが一つと、もう1点。商工会でリーフレットをお渡
ししている
ので、商工会に、もう少し協力してもらうことはできないのかなと思います。そっち
をちょっと
押してみたらどうかと思うのですけれども、いかがですかね。
- 委員 すべてに共通することで、「さんあ〜る」で発信というふうに、一生懸命にされているのですけ
れども、そ
もそもダウンロード数って、市民の方に対して、どのくらいとか把握されています
か。「さんあ〜る」のダウンロード数。
- 委員 231。えっ、と思ひまして。ここにみんな、行きつかないってことですよ。
- 委員 少なすぎるのですよね。
- 委員 そう。でも本当に見て良かったので。皆さんスマホだと見られるので。
- 委員 だからそれを何とか見てもらえば。もちろん事業者にも市民にも、それを見てもらうことによ
って、大分
変わると
思います
けど
- 委員 例えば、フードロスの、今、ご説明いただいたことも、指1本でその条件とかもわかるのです
よね。そ
の「さんあ〜る」を見ると。だから、悩むことなくいろいろ勉強できて、びっくりしたの
ですけ
れども。だ
から、その「さんあ〜る」のダウンロード数の推進というか。いくら発信してもダ
ウンロー
ドする人
がいな
いと見
ていた
だけ
ない
ので。
- 委員 あそこにたどりやすくすればいいですよ。
- 委員 たどりやすくすればいいなって思いましたね。それで、例えば、転入者がいらしたときに、ダ
ウンロー
ドしてく
れたら
おまけ
でゴミ
袋なり
水切り
なりあ
げます
よ、み
たいに
する
と、転
入者
の方
は情
報が
欲
しい
から
必
ず
見
る
と
思
う
の
で
す
よ
ね。そ
う
い
う
こ
と
で、
若
い
方
な
ど
は
必
ず
見
ま
す
か
ら。そ
う
や
っ
て
ち
よ
っ
と
プ
ロ
モ
ー
シ
ョ
ン
を
す
る
と
か、
あ
と
は
ク
リ
ー
ン
ア
ド
バ
イ
ザ
ー
の
講
習
会
も
い
っ
ぱ
い
さ
れ
て
い
る
の
で、
例
え
ば
そ
の
講
習
を
行
う
時
に
必
ず
そ
の
P
R
を
し
て、
そ
の
場
に
い
た
方
に
ダ
ウン
ロー
ド
し
て
ま
ら
う
と
か。今
回、1
階
で
び
っ
く
り
し
た
の
で
す
け
れ
ど、
と
っ
て
も
か
わ
い
い
ポ
ス
タ
ー
が
で
き
て
い
て、
あ
れ
も
こ
こ
で
初
め
て
見
た
の
で、
い
ろ
ん
な
施
設
に
貼
っ
て
お
い
た
ら、
ひ
よ
っ
と
し
た
ら
目
に
留
め
て
い
た
だ
け
る
の
で
は
な
い
か
な
と
思
っ
て。そ
も
そ
も
市
の
広
報
で
も
う
ち
よ
っ
と。
私
も
周
り
の
方
に
言
っ
た
ら
高
齢
の
方
で
も「便利
だわ」
っ
て
言
っ
て
ま
ら
え
ま
し
た
し、
だ
か
ら
若
い
人
に
は
よ
り
便
利
だ
と
思
い
ま
す
よ。
あ
と、
環
境
フェ
ス
タ
で
も
プ
ロ
モ
ー
シ
ョ
ン
で
き
ま
す
よ
ね。「こ
れ、
ダ
ウン
ロー
ド
し
て
く
だ
さ
い」
っ
て。本
当
に、
フ
ード
ロ
ス
の
申
請
の
仕
方
ま
で
出
て
い
ま
す
の
で、
だ
か
ら
事
業
者
に
も
商
工
会
議
所
に
も
行
っ
て、
ま
ず
こ
れ
を
し
て
く
だ
さ
い
ね
っ
て。せ
っ
か
く
い
い
ア
プ
リ
を
出
さ
れ
て
い
る
の
で、
そ
こ
が
問
題
じ
ゃ
な
い
か
な
と
思
い
ま
し
た。
- 委員 何かの機会に配るとか。紙がいるからちょっとどうかとは思いますが。
- 委員 何でたどり着けないかなって私も悩んだのですけども、アプリの中で、インフォメーションのバ
ーが
出
て
く
る
の
で
す
ね、
項
目
で。小
目
次
と
し
て
は
と
っ
て
も
い
い
と
思
う
の
で
す
け
れ
ど、
下
の
方
に
行
っ
て
し
ま
う
と
た
ど
り
着
け
な
い
の
で、
例
え
ば、
リ
サ
イ
ク
ル
の
情
報
の
広
報、
リ
ユ
ース
と
か
は
す
ご
く
大
事
な
と
こ
ろ
な
の
で、
そ
れ
を
見
た
い
人
と
い
う
の
は
結
構
い
る
と
思
う
の
で
す
よ。
だ
か
ら
そ
れ
を
項
目
に
1
個
増
や
し
て、
あ
と
は、
ご
み
減
量
啓
発
動
画
と
い
う
の
も、
項
目
に
入
れ
ち
ゃ
っ
て、
そ
こ
を
ク
リ
ック
し
た
ら
い
い
と
い
う
よ
う
に
し
た
ら。

委員 それは設計する時に、もう1回考え直した方がいい。今のものをどうするのか設計し直して、そこでそういう作業をしないとダメですね。

委員 最初の、項目を増やすというのはどれくらい大変なことなのか分からないですけど、やっぱり、とてもいいものに何でたどり着けないのっていう。

事務局 アプリ「さんあ〜る」につきましては、市で作っているものではなくて、業者が作ったものを使わせていただいている形になります。ですので、項目の追加とかが、どれぐらいできるかというのは不明なところではあるのですが、できる範囲内で、わかりやすい方法ができればと考えております。

委員 動画にたどり着けるようによろしくをお願いします。

委員 指標として、閲覧回数が何回という指標を作ったらいいのですか。今回は200回だったら、来年は400回にするとか、そういう指標があるといいですよ。

事務局 はい。

議長 審議会のここの場所だけですと、いろんなご意見いただいてもすぐに取り組めない部分もありますので、日常的に皆さんからご意見をいただいて、クリーン推進課の方で調整したり、新しいものを作るときに、意見を言うていただくような形で、進めていただければいいかと思えます。特にこちらにいらっしゃる皆様は非常に関心が高い方が多いですから、本人だけじゃなくて知り合いだとか、お友達の意見とかをね、持ち寄っていただければいいかと思えますので、よろしくをお願いします。

議長 では1-1のところはこの程度で一旦区切らせていただいて、1-2の方、説明をお願いします。

事務局 ~資料2、1-2、生ごみの減量について説明~

議長 1-2について、どうぞ皆さんご意見とかありましたらどうぞ。

委員 環境フェスタで配布した生ごみしぼり器250個というものですけれど、私、環境フェスタで温暖化防止印西のブースにいまして、もしかして黄緑色の洗面器のようなものですかね、ずっとブースに残っていたのが気になっていまして、実行してよかったのかな、来年も同じようなことをするのか、と思いまして。どんな感じだったのでしょうか。

事務局 環境フェスタの時は、個数をたくさん持っていってございまして、終わりになっても残っていたような形にはなるのですけれども、配るときに説明しながら、このように生ごみの水がしぼれるものなのですよ、みたいな形で、説明しながら配ってございまして。啓発にはなっていると思っております。

委員 ちょっと私も、主婦なのですが使ったことが無かったので、ちょっと聞いたことが無い製品だったので、どうだったのだろうと気になって、わかりました。

委員 生ごみ処理機処理容器の購入補助なのですけれども、これ、どのようにして募集しているのですか。というのは、どういう形で募集して、どういう形で周知して、利用者を高めているのがちょっと見えないのですけれど。

事務局 ホームページとか広報などで、お知らせして、購入する時は補助がありますよとお知らせしています。特に、ここ2、3年ですね、生ごみ処理機の補助金については、申請が多くなってきている傾向にございまして、今年も途中で予算が終了してございまして、去年も予算を最後まで使い切っております。

委員 去年も執行率100%で、今年も、今100%であれば、これが本当に効果のあるものだったのであれば、予算を増額するとかしていかないといけないのかなとは思っておりますけれども、

どうお考えですか。

事務局 予算要求につきましては、しているところではあるのですが、実際に要求された予算がつくかどうかというのは、また財政部門との折衝がありますので、できる範囲内で、なるべく多くの方が補助を受けられるように、制度を考えていきたいと思えます。

議長 皆さん、どうですか。実際にここで、全所帯の約7%の方がすでにこちらを利用されているという感じ、この数字はいかがですかね。私ももちろん使いましたけれども、7%でもちょっと行くと1割ですからね。

委員 アンケートをされていますよね。アンケートの結果では、どういうアンケートをされているのかはわからないのですが、どんな具合なのですか。

議長 このアンケートは今回が初めてですか。

事務局 これまでも実施しております。今後の予定では1月に行いますけれども、直近のデータですとやはり、継続して使いたいという意見が多かったです。中には、その人のライフスタイルというか、生活に合わないという方も当然いるのしょうけれども、大半の方が継続して使うということになっております。生ごみ処理は、こういう機械に向いている方とコンポストに向いている方、前回のダンボールコンポストの話も出たと思えますけれども、いろいろな形で取り組んでいただければと思っているのですが、この事業については市としても、改善も当然しながらですが、継続していきたいということで財政課とは折衝しているところです。

議長 できたらですね、こちらの方、これは要望なのですが、このアンケートの大まかな内容ですが、広報なんかで紹介していただくと、実際にこういうふうに使われている方もいるのになってというふうなことで、関心持ってもらえると思うのですよね。機会がありましたらよろしくお願ひしたいと思えます。

では次に1-3のところ、お願ひします。

事務局 ~資料2、1-3、剪定枝の減量について説明~

議長 こちらについてはどうですか皆さん。実際に貸出しが2件と4件なのですが、これは量的にどのようにとらえたらいいですかね。多いというふうにとらえたらいいのか、それとも逆に、利用が少ないというふうにとらえたらいいのですかね。

事務局 剪定枝粉碎機につきましては、借りている方が固定化していると、同じ方が毎年借りられているということで、そういう方が多いので、この制度がどれだけの剪定枝粉碎機の普及に寄与しているのかというところはわからない。「試しに使ってみましょう」と借りるよりは、「これ便利だから、毎回借りている」という方が多いような印象です。ですので、どちらかという、購入補助とかの方がむしろ合っているのかなというところでは、貸出しも、電気式は新しく買い替えたりしているのですが、エンジン式は結構古くなって、大きいものなので買い替えが難しいというところもございます。

議長 機械自体は何台あるのですか。

事務局 機械自体は、電気式が2台と、エンジン式が1台。

議長 使い勝手の問題とか、それとあとは、粉碎したものの処理はどういうふうな形で、今、実際にはやられているのですかね。

事務局 使い勝手につきましては、電気式のものが、やっぱりエンジン式のものよりはパワーが弱いというような形でありまして、ちょっと太めの枝とか、そういったものを粉碎したい時にはやっぱりエンジン式でないとももの足りないのかなというところは聞いております。粉碎した後のチップ化したものにつきましては、借りた方で、資源化して利用していただくような、何かに使っ

- 議 長 いただくという形で、燃やすごみとして出さないでくださいという説明はしております。
- 議 長 確かに減量化の説明会だとかの時には紹介はしているのですが、実際に機会があったら、こういうものがありますよ、というデモンストレーションみたいなものを、出張所だとか市役所の前あたりでやられた方が、PRになるかと思しますので、考えてみていただけたらいいのかなと思います。
- では、その次の1-4の事業系についてお願いします。
- 事務局 委員 ~資料2、1-4、事業系ごみの減量について説明~
- 事務局 減量化計画書を出してもらって、結果については、調査をするのですか。
- 事務局 結果についてはですね、まとめているところではあるのですが、件数が多くてなかなか全部見られるところまでいっていないというところが現状です。
- 委員 一番増えているのは事業者のごみですよ。計画書に基づいて、実践していただいて、その結果どうなったのですか、というところに言及すれば、ちゃんとやっているって言い方変ですけど、順調にやっているところとそうでないところがわかったりして、そうするとその後の対応も少し変わるのかな、と思ったのですけれど。
- 議 長 その辺のところ、お話ありましたのですけれど、計画書を出していただくのは、もちろんこれは対象ですから、当たり前のお話なのですけれども、その結果をしっかりと出してもらって、それが達成できていれば、もちろんいいのでしょうけれども、そうでない場合は、今後どうなりますかっていうふうなところをしっかりと指導していただかないといけないのかなと思うのですけれどもね。これ、計画書は年度初めに出して、結果の方は当然、翌年に出されるわけでしょう。今度、次回の審議会には間に合わないのかな。達成状況の報告とか、未達の理由とか。
- 事務局 計画書の中には前年度の実績と今年度の計画を書く欄がございまして、それぞれ、実績を出してこうなのですよ、というような計画を出していただくような形になります。
- 議 長 できることならば、しっかりと達成しているところに対しては、何かインセンティブがあるような、この事業所はそういうふうにしていますよ、というふうなことがPRできるような感じになって、それぞれ競ってもらえればな、と思うのですけどね。何か状況を考えて、せっかく出してもらっている。
- 事務局 インセンティブの方は、なかなか見せ方が難しいと思うのですけれど、今、そういった結果をもとに、今までは担当ベースで、どこに行こうか、とか、コロナ禍だから行けないね、とか、訪問の計画が立てにくい状況でしたので、今、内部で、数年かけて事業所を回れるように要領みたいなものを作って、それに基づいて、訪問しようかと思っていますので、多量に出ている事業所とか、同じ着眼点で指導できるような体制をとってやろうと思っています。
- 委員 この結果が、この審議会の資料のどこかに出てくれば、こちらの方も、こうしなければいけないという具体的な話にもつながるのかな、と考えておりますけど、出てこなければ、「あれで実施しています」で終わり、って言えば、結果の数字だけが出ているだけで、だから、なかなか非常に難しいのかな。
- 事務局 量的なものなのか、取り組み好事例なのか、その辺は検討させてもらいたい。
- 議 長 お願いします。
- では1-5のところお願いします。
- 事務局 委員 ~資料2、1-5、ごみ処理手数料について説明~
- 委員 検討されているのはわかるのですけれども、検討されている内容とか途中経過とか、その辺のことが全然書かれてないのですけれども、その辺は書きにくいのですか。この成果がちょ

とわからない。

事務局 ごみの有料化の検討につきましては、印西地区ごみ処理基本計画の検討のところで行っているところではあるのですが、実際、印西、白井、栄、それぞれで有料化している条件が異なっているところがありまして、なかなか先の方に進んでいないところがあります。

委員 中身が進まないのだったら、何年度は何月と何月と何月に、どこでこういう議題について検討を行ったとか、実績を書かれたら良いと思う。

事務局 ごみの有料化につきましては、説明のありましたとおり、クリーンセンターで会議しております印西地区ごみ処理基本計画の中で、検討項目となっております。毎月のように会議を行っているのですが、計画の方が主となっております、なかなかこちらの、有料化の具体的な内容までいかないところでもありますけれども、会議の中で3市町、構成市町でございますので、まずその統一というところのお話が、なかなか先に進まない部分でもあり、ネックでもあり、少しずつ進めたいところではあるのですが、努力しているというところで、ご理解いただきたいと思います。

委員 ちょっと質問していいですか。ごみの有料化っていうのは、どのようなごみを、どういうふう有料化していくのか、ちょっとわからないので説明していただくとありがたい。

事務局 今、栄町ですと、ごみ出すことに対して袋での有料化、白井市ですと、粗大ごみを出す際に、品物での有料化をしています。それに対して印西市はどうあるべきなのか、また、3市町の構成市町がございますので、一元化してやるべきではないのか。いろいろな方向性がございまして、その辺からして、考えていかなければいけないところなのかなと考えています。

委員 印西市のごみ袋って有料じゃないのですか。

議長 ごみ袋は、単純に言うと実経費だけです。有料化としてのごみ袋の金額ではありません。作っていただいているところと、販売しているところの経費の分を、実際にそれが購入価格に反映されているというだけです。

委員 学校は事業所なので、あのごみ袋は使用していないので、いくらかわからないのですが、例えば40リットルで10枚入っているのですか。

議長 今のものは確か7円ぐらいですね、1枚。

委員 1枚7円ということは、10枚で70円ということですか。

議長 そうですね。ワンセットで20枚入りですので、金額的にはいろんなところを私も今調べているのですが、そのくらいの金額でどこも経費的にやっていますという。実際に有料化になると、処理費をそれに乗せなきゃいけないのですね。

委員 ちょうど今日、燃えるごみの袋を購入したのですが、209円でした。20枚、大きい方。

委員 私、住んでいるのは八千代市なものですから、八千代市は40リットル10枚で240円。なので、じゃあ有料化しているのだな、と。ほぼ同じですからね、材質から、色が違うだけで。

委員 そうすると、ごみが有料化となると、倍くらいの金額になる可能性があるということですか。ちょっと安いところで買っているのが209円だったので、普通250円くらいですか。

議長 基本的に印西市と白井市のものは、どこのお店で買っても、青い袋などは同じ値段なわけです。

事務局 燃やすごみの袋につきましては、有料化の値段が乗っているわけではないので、それぞれのお店によって、自由に値段が決められます。有料化になりますと、その値段の中に処理費用が乗ってくるような形にはなる、ごみ袋で徴収する場合はそのような形。いくらになるかというのは、検討の材料にはなってくるところではあるのですが、

- 委員 個人的な感覚なのですけれど、これ、すごく有料化にすると、ごみの量は目に見えて減るのではないかと思う。私も、自分で使っていて、やっぱりもったいないから、なるべくぎゅうぎゅうに詰め込んで、なるべく出さないようにしようとかという意思が働くので。それで、八千代がやっているわけではないですか。だから、そういう意味においては非常に、逆に言えば取り組みやすい内容なのかなと思ったりもするのですけれども。あくまでも個人の感想ですが。
- 議長 ごみの処理費自体は、一般廃棄物は自治体側が処理しなければいけませんから、全部税金で賄っているわけなのですけども、自治体の財政によって、とてももう賄いきれなくなったところが、やむを得ず利用者に処理費を負担していただくというのが有料化です。袋を有料化することによってごみの排出量が減るというのは、もう全く違う世界の考え方の話なのですけれども。一番高いところで私が調べた限りでは、北海道なんか1袋に対して百何十円も有料化しているのですね。結局、改修に費用がかかったり、そのあとの処理事業に費用がかかったりし過ぎて、財政的にとてもじゃないけど、行政は税金ではできませんということで、発生者に負担してもらっているというのが現実です。ですから中には、山の方の地区なんかで、全部生ごみなんか自家消費して、処理しちゃっているところは、そういう処理費もかけなくても済むわけですよ。印西市の場合では、一部の人は確かに、農家なんかで、外で処理してくれている人もいますけれども、ほとんどの人が、ごみとして出しているのが現実ですので、皆さんの税金で処理して、負担していただいているというのが実際なのです。
- 委員 担当者会議でやられているということなのですけれども、担当者会議で担当者に任せっきりというのなんかちょっと荷が重いのではないかという気がするのですけれども。もう少しこの上層部の方の会議とか調整とか、そういうことって働かないのですか。そうすると何か進むような気がするのですけれども。
- 事務局 もちろん担当者のみで決定するものではなくて、その次には課長会議、それからその上の部長会議とかというような形で、上がっていくような形になると思いますけれども、もちろん担当者のみで決定するものではないです。さらに市町での縦関係の調整等も必要になってきますし、横の方の関係の調整も必要になってきますので、担当者のみで設定するものでありません。
- 委員 もちろんそうですけども、首長同士で話し合ってもらって、トップダウンで決めていくのが一番、こういうものというのは早いと思うのです。その辺の調整をうまくできないかなと思うのですけども。
- 事務局 有料化が目的ということではまずないのかなと考えています。減量化が一番あって、まずそちらの方に進んでいければ、有料にしなくてもいいところもあるのかなと。
- 委員 いや、事業名がそもそも「有料化の検討」という事業名を挙げて、それでこういうことをしていくということが書かれているので、だとすると、今、私が言ったような方法が早いかなと思う、ということです。
- 委員 すみません、粗大ごみの話もよろしいですか。粗大ごみ、印西市、無料なのですよね。ちょっとびっくりしたのですけど。粗大ごみって、収集にだいたい1個何千円とかかる市町村が多いのかなと思うのです。私の知り合いの方でも、印西市から引っ越して行かれる方で、「印西は粗大ごみ無料だから全部捨てていく」っておっしゃる方とか、結構何人が聞いたことがあって、最近、リサイクルのお店っていっぱいできているのですよね。印西では、ごみで出せば無料で持って行ってくれるから、リサイクルショップに持っていくモチベーションが上がらないのです。でも他の市町村だと、ごみで出すと数千円かかるけど、リサイクルショップに頑張って

持っていけば、二束三文でも買い取ってもらえるのですよね。なので、やっぱり粗大ごみを数千円で収集するというのは、ごみの減量に効果があるのではないかなと思っているのです。意味わかりますかね。なので、ちょっと粗大ごみ無料というのを続けるのはどうなのかなというの、私の個人的な意見です。

事務局 有料化自体はごみ減量施策の一つということで、有料化ありきではなく、他の施策と絡めて、当然、行政目標の数値を達成すれば、一番いいことだと思います。粗大ごみに関しては、確か、国が平成15、6年くらいに、有料化もそういった施策の一つであるという指針を出した時に、当市でも検討した時期がありまして、その時の審議会では、減量化施策として有益でしょうということで、有料化の方向は、示していただきました。それと並行して先ほど言ったように、印西地区のごみ処理行政を単独市町でやるよりは、広域行政のスケールメリットを生かした方がいいのではないかとということで、一元化の話も並行して進んでおりまして、そのタイミングで印西と白井の粗大の考え方がちょっとずれた経緯というのがあります。今、進めています、印西地区ごみ処理基本計画の中では、やはりもう少し具体的に有料化の方を検討したらどうかという意見も出ていましたので、そのあたりで、こういう統一的にできるのか、減量の推移を見るのか、それを今話しているということで、当然、粗大ごみも、有料化してはどうかという意見は認識しています。そういう検討をした経緯もございます。

委員 先ほど、ごみの減量計画と有料化は別の話だということだったのですけれど、これ、ごみの減量計画の進捗状況ですよね。ということは、その問題が入ってしまうのは、私は入っているから話をしたわけで、当然市としては、ごみの減量計画の中に有料化という手段を取るということでもいいのですか。だってこれ、施策の進捗状況でしょう。

事務局 取るのを前提に施策を検討しているわけではなくて、まず、他のそれぞれの品目や事業の取り組みで目標を達成できれば、有料化という施策は取り入れなくてもいいのではないかと、並行して考えております。ですので、他の自治体で1割減った、2割減ったという、印西も取り組めばいいのではないかと、そちらが最優先では考えていないというのが実態です。ただ、位置付けてはいますので、これが2年やっても、前回の計画でも達成していませんでしたので、今、印西地区の構成市町で話をしている計画の中では、これまで達成できていないので、もう少し踏み込んだ議論が必要だろうという意見はいただいています。

委員 減量計画の施策の一つとして、有料化っていうことを考えているということでもいいのですよね。ごみを減らすために、ごみの処理を有料化するということを考えていることですよ。別の話ではないのですよね。

議長 今、おっしゃられたように、粗大ごみだけでもそういうふうな処理費をいただくとかっていうことも一つの施策の中に入ってくるし、有料化の考え方の一部だと思うのですよね。「とにかく、ごみを出すのはお金をさなければ」という話までは、ちょっと行き過ぎとなりますので。いろいろな施策の中では可能だろうと思いますけれども。

委員 これ、いつまでに結論を出すのか、期限を決めるか、あるいはいつまでに中間報告をすとか、その時期をこの中に書けないですかね。中間報告ぐらいなら出せると思うのですよね。これ、5年でしたっけ、中間目標まで、そこまでに何か検討の結果を出さないといけないのではないですか。多分このままいくと、毎回同じように検討、検討となってしまう。

議長 私も印西地区の方の委員で入っているのですが、実際に、はっきり、あちらの審議会の中でもですね、決定的なところまでは言っていない、検討しようという段階です。ですから、この中にはたして入れていいものかどうかなんですけれどもね。

事務局 印西地区の計画の中では、もう少し踏み込んだ書き方の目標達成がありまして、10年度、次期施設が稼働するまでに、検討して導入したらどうだという意見はいただいています。ただそれが、印西地区の減量の施策の考え方というのが、少し、有料ありきのおいが出ている自治体と、実際に有料化している自治体と、まだ印西は市民の皆様の削減の取り組みで、何とかいけるのではないかとということがありまして、うちとしては、有料化の具体的な時期はまだ決まってないということです。ただ、印西地区全体としては10年度を目途にいろいろ検討をもっと進めましょうという意見が出ていますので、それに添った検討は、今後、進むということです。書き方は先ほども言ったとおり、いつ、どういう具体的な検討というのは、当然書くべきだと思うのですが、今、まだ制度設計まで入っている実態ではありませんので、ちょっと今回、こういう書き方にさせていただきました。

委員 例えば、粗大ごみからやって、順番にやっていくとか、あるいはそういう検討していくとか。

事務局 当然、今後、そういうロードマップで決めていこうと思います。

議長 まだそこまでは話が進んでいない状況ということで。
続けて、アクション2の方、説明をお願いします。

事務局 ～資料2、2-1、資源の分別について説明～

議長 2-2の方、お願いします。

事務局 ～資料2、2-2、資源回収について説明～

委員 製品プラスチックの資源回収、ぜひお願いしたいです。うち、子供のおもちゃがいっぱいあって、おもちゃ、リサイクルできたらいいのにとというのがすごくあります。ぜひ検討をお願いします。

事務局 印西地区ごみ処理基本計画の中でも個別に出した計画になっていますので、分別ができて、ごみの減量資源化と、脱炭素の問題もありますので、どういう切り口で取り組めるかというのは、検討を進めたいと思います。

議長 製品プラスチックはですね、国の制度はできたのですが、まだそこまで現実に処理をする体制が整っていないのが実態なのですね。ですから、どこの市町村も入っているところがほぼないのが実態です。
では、次の2-3をお願いします。

事務局 ～資料2、2-3、リユースについて説明～

議長 アクション3の方、お願いします。

事務局 ～資料2、3-1、情報発信について説明～

議長 3-2についてお願いします。

事務局 ～資料2、3-2、環境教育について説明～

委員 2番の児童生徒向けに自由帳配布と書かれていますのですが、今、子供たち、1人1台タブレットを持っていますし、スマートフォンでアプリをダウンロードしたりというのも結構スムーズにやるのですよね。なので、自由帳や下敷きを配布する代わりに、さんあ～のアプリをダウンロードしましょうというチラシを配布、その予算があれば、4年生って、下敷きをみんな持っているの、それよりはアプリをダウンロードしましょうというチラシを1枚配布されたらどうかと思います。

議長 ありがとうございます。これは、教育委員会の方と話をして、簡単に進められませんか。

事務局 ちょっと考えてみます。

議長 せっかくなツールがあるわけですから。

- 委員 もし長く持たせたいのであれば、クリアファイルでもいい、もう少し使い道があるのではないですかね。こういうものを書いておけばいいわけでしょう。そうすれば使ってもらえるから、チラシならその場で終わってしまうこともあるだろうけど。使っていれば、というアイデアですけどね。
- 議長 そうですね。今のなどは、来年すぐやると言っても、次年度には。
- 委員 QRコードをぜひ載せていただければ、もうそれだけですぐダウンロードできるので、QRコードとさんあ～るのアプリがありますという情報を、みんなに知っていただくという方が、自由帳や下敷き配布するよりよっぽどいいのではないかなと思います。
- 議長 先日、西の原の中学校でやった画像なんかも、逆にそういうふうな形でお願いしてしまえば、時間がある時に見ていただけるわけですよ、一堂に会しなくてもね。自宅に持って帰ってもね。そういうのもちょっと考えてみていただきたいと思います。
- 事務局 小学生のタブレットの件は、タブレットを使った視点というのはちょっと無かったものですから、啓発の中身も含めて、その辺を考えさせてもらいたい。
- 委員 印西市では「印西学」というのを、今、やり始めているのですよ。当然、ごみの分別についても、印西学の一部として。佐倉と酒々井が進んで、「佐倉学」、「酒々井学」ってやって、その中の一環の教材として、「さんあ～る」を活用するのも一つの方法なのかもしれないですね。
- 委員 広報の「ごみの分別大事典」という名称を「ブンベツくん」に変えたのですか。これは、なぜこのように変えたのですか。「ごみの分別大辞典」とか、面白く書いてあったのですけど、この間、広報見たら「ブンベツくん」とか書いてあったので、これは何かかなと思って、見てしまったのですけども。
- 事務局 広報の委託先が変わった、というのが実情です。
- 委員 担当課の意見がそこに出てこなければいけないと思うのですけど。
- 事務局 そうですね。会話形式でやるような形にしたらどうかという話がございまして、形が変わったという事で。内容については、変わりはないのですが。
- 委員 馴染みがなかったので、見たときに。そのカタカナだったので、どうしたのかなと思って。特に、では意見は無いです。
- 議長 資料2つきまして、以上にしていきたいと思います。
- 委員 すみません。不法投棄の件などは、クリーン推進課の担当ですか。そのことについてお聞きしてもよろしいですか。女性の会の方で、年に1度「エコウォーキング」といって、ごみを拾いながら名所旧跡を回るということをやっているのですね。先日、浦部地区の方を回りましたら、家庭用の冷蔵庫とかが谷のところに不法投棄されているという事がありまして、市の方にうちの役員が連絡したと思うのですけれども、それで何か対策とかしていただいたのかなと思って、その辺のところを伺いたいのと、そういう通報がいくつかあるかと思うのですけど、あちこち不法投棄されているところがたくさんあるかと思うのですけれども、そういう不法投棄がされているところの通報があった時に、推進課の方で何かアクションして下さるのか、そのあたりのことを伺いたい。
- 事務局 個別のそういった案件がありましたら、まず地権者さんとかを調べて、そちらの方に情報提供を行い、改善・対策についてお願いしております。今の場所が、私の記憶に無いのですけれども、民地でしたらその所有者、国県道とかがよく多いのですけれども、道路敷でしたら施設管理者の方にお願いをして、対策をしていただいております。市道でしたら、土木管理課、道路管理者に連絡をして、すぐに対応できるものはクリーン推進課で対応しております。

- 委員 私たちが見たところは、谷になっているようなところで、冷蔵庫ですとか、普通の生ごみとかそういったものを捨ててあったので、土地を所有している方のごみなのかな、と言いながら通ったのですけれども、でも大型の冷蔵庫とか捨ててあったので、市の方に連絡したと思うのですよね。それに対して、何か取り締まりというか、そういうことをして下さるのかな、と。
- 事務局 対策というのは、基本的には、その土地管理者であったり施設管理者ですけれども、その対策という意味では、今、民間のパトロールと、あと職員のパトロール、あと監視カメラの設置、そういったことで対策していますので、それでも継続的に捨てられるような場合ですと、監視カメラで犯人を特定できないか、それと合わせて、重点的に、夜間パトロールとか日中のパトロールというのは行いますので、その対策の部分と、実際の処理の部分という形に分けて対策というか、処理をさせてもらっています。
- 委員 ありがとうございます。あともう一ついいですか。ごみ袋の件なのですが、燃やすごみの青い袋の方は、大きいものと小さいものと、大きさがあるかと思うのですけれども、プラスチックごみの袋の方は大きい袋しかないのですよね。今、現在。それは作る予定は無いのですか。というのは、うちのご近所の方がよく言うのですけれども、「そんなにたくさん出ないよね」ということで、「1か月に1袋まとめて捨てているのよ」という方とかがいらっしゃるので、「小さいものがあるといいのにね」という話をよく聞くのです。で、「燃えるごみは小さいものがあるのに、どうして、黄色の方は小さいのが無いのかしらね」という話を聞くのですが、それは、作る予定はありますか。
- 事務局 予定があるか無いかで言いますと、今、規格自体も、環境整備事業組合の方で定めているのですけれども、作る動きは実態としては無いです。ただ、私の記憶ですが、導入した当時は、かなりかさ張るごみなので、小分けにすると、収集の効率であったり、飛んでいってしまうのではないかとということがあって一定の、袋を確か指定したような記憶があります。白井市は中型が確か当時はあったのかなと思ったのですけれども、今はワンサイズしかないと思います。
- 委員 小さいのがあったらいいのにね、という声を何人か聞いたので、一応、検討していただく機会がありましたら、よろしくお願いします。以上です。
- 議長 はい。
- 委員 よろしいですか。資料2の施策の進捗についてなのですが、4年度の活動目標とありましたね。この活動目標はいつごろ立てたのですか。これ、いきなり出てきたような気がするのですけれども、通常は、前年度の終わりに、この年の実施計画みたいなものを作って、その中で、目標とか施策を作って、それで、そこからスタートしていくのですけれども、それが無いまま、いきなりこういう目標が出てきたので、ちょっとそこは戸惑っているのですけれども、次年度から同じような形態でやるのでしたら、今年度の終わりに、次年度の実施計画みたいなものを作って、それから始められたらいいと思うのですが。
- 事務局 この活動目標につきましては、令和4年度が始まる時にできていれば一番良かったのですが、今回、改めて作ってみました。なるべく予算を要求した時の数値とか、その辺のところを使って、活動目標を作成したところではあるのですけれども。次回、令和5年度以降につきましては、本来あるような、年度当初に間に合うような形でまず活動目標を定め、それに対して進捗状況を報告できればいいなというように考えております。
- 委員 では、これはイレギュラーということですね。
- 事務局 はい。前回の審議会でも指摘がありましたので作成したような形です。

議長 はい。

事務局 計画書の段階で、目標値というのは設定されておりましたので、前回の会議の時に、見やすい形の、こういうものがないのかなという指摘をいただきまして、前年度の数値とかを拾い上げて、皆様にわかりやすいような形でご報告できればということで、無理矢理感はあるのですけれども、作成させていただきました。苦しい部分はかなりあります。計画の段階で目標値とかっていうのを設定できれば、そのPDCAとか、評価とかすることは可能かと思えます。

委員 計画の段階では、計画の内容とかを書いて、取り組み例としていくつかこう書いてある。だからそれが目標だと思っていたので、それを進行管理していくのかなというふうに感じていたのですよね。そんな中で、いきなりこの活動目標みたいなものが出てきたので、これが出るのであれば、毎年、その実行計画の中でこういうものを決めて、やられるようなことで考えていたので、そこがちょっと違ったのかもしれないですね。

事務局 計画の段階では、数値的なものが出ていないという部分があって、そういう部分が必要ではないか、という前回の意見を踏まえて作ってみた。指標の話で、数字として目に見える進捗状況などが示せればいいのかというところで、今回、このようなものを作成したところです。

議長 では、そういう形で次年度は、年度当初から数字が出せるような形でお願いしたいと思いません。

印西市廃棄物減量等推進審議会の会議録は、事実と相違ないので当審議会は、これを承認する。

令和5年2月22日

印西市廃棄物減量等推進審議会

委員 坂口 育子

委員 吉岡 明